学校だより

平成３０年５月３１日

かわい

横浜市立川井小学校

運動会を終えて

副校長　　柳田　康彦

今年も「感動の川井っこ運動会」が、終わりました。

１・２年生は「ニャティティーソーラン」。小さな体で野性味のあるダンスを力いっぱい表現してくれました。練習の初めのころは、動きが遠慮がちの子も多かったのですが、日を追うごとに、動きがのびのびとして、強さを感じられるようにまでなり、目つきまでもが違ってきました。１・２年生なりに「真剣さとダイナミックさ」を表現してくれたと思います。

３・４年生は「フープ＆ダンス　It’s　show　time！！」。今年の６年生の思い出の曲でもある「情熱大陸」の曲に合わせて、フープ操作と体操を組み合わせて表現してくれました。昇降口の近くで自主練習する姿がたくさん見られましたが、一人ひとりの上達ぶりには目を見張るものがありました。本番ではさらに、集団のチームワークも見せてくれました。

５・６年生は「Beautiful　Jump」。川井小高学年の伝統となった、縄跳びの団体演技です。昨年の運動会で初めて見たとき、あまりのレベルの高さにびっくりしたものでしたが、今年も全く別の曲で、これまたレベルの高い演技を見せてくれました。練習がある程度進んでくると、同じ跳び方をしているときに、１３０人以上の子どもたちの縄のまわり方がそろってきて、縄が地面を打つ音までそろってくるのです。思わず身を乗り出して見惚れてしまいました。

さらに川井小の運動会の特徴となっているのが、たてわりリレーと応援団だと思います。たてわりリレーでは１年生から順番に上級生にバトンを渡していくのですが、その技術は先生が教え込むのではなく、朝練で同じチームの上級生が伝授する、というのが川井小の伝統です。また、応援団は休み時間に必死の練習を続け、応援リーダーとしての誇りとプライドをその姿と声出しで示す一方で、子供らしく、流行にのったもりあげにも全力投球でした。その姿、かっこ良かったです。

そして今年も書かせてもらいます。「川井小のみなさん、たくさんの感動をありがとう。」

運動会がんばりました

４・５組

子どもたちは、運動会に向けて、毎日練習に取り組んできました。

クラスでもCDをかけながら、ダンスの練習をしたり、高学年はなわとびタイムを設けて、諦めずに挑戦したりしてきました。

日に日に気持ちが高まり、運動会を楽しみにしながら、前向きに取り組む姿に成長を感じました。

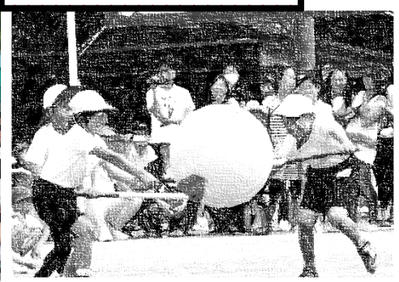
交流級の友達からの励ましも力になったようです。

１年生

初めての小学校運動会。前日には、「楽しみだなあ。」「勝ちたいなあ。」などの声が子どもたちから聞こえました。

当日、１・２年のニャティティソーランでは、手を大きく動かしたり、飛び跳ねたりと全身で表現し、はじけている様子がとてもかわいらしかったです。「みんなでつくろう！はなのみち」では、大好きな６年生と協力して、きれいなはなのみちをつくり、大喜びでした。

運動会終了後、教室に帰ると「あぁ、楽しかった。」と、疲れているはずの１年生が笑顔で言っていました。充実した運動会だったようです。



２年生

わたしは、川井音どをがんばりました。カワタクやいろいろなきょうぎの中で、一ばんたのしかったのが川井音どでした。おどりがたのしかったです。

わたしは、ニャティティーソーランをおどりました。さいしょはちょっとはずかしかったけど、と中でちょっとたのしくなりました。さいごは、少しつかれたかんじがしました。だから、自分ではすごくがんばったとおもいます。

３年生

今年の運動会で、フラフープのダンスを頑張りました。腰回しは難しかったけど、２回目で成功してとても嬉しかったです。最後の３人組で作る「扇」の演技が、うまくいったことも嬉しかったです。８０m走では、３位で悔しかったけど力いっぱい走りました。

私が一番がんばったことは、ダンスです。苦手だったのは、フラフープの腰回しと手首回しです。苦手な技ができるように、中休みや昼休みに練習しました。ペアの４年生にも、こつを教えてもらいました。本番では失敗しないでできたので、とてもうれしかったです。

４年生

下の学年のお手本になろうと一生懸命頑張りました。笑顔で楽しみながら心に残る運動会を作り上げました。

わたしは協力する力がつきました。カワタクのときに２年生がこまっているときにたすけたり、夏ミカンがおちたときにいっしょにひろいにいきました。

ぼくはこの運動会で、友達と力を合わせる力がついたと思います。リレーでは、朝練習や中休みにチームの友達とバトンパスの練習をして、上手になりました。たてわり競技でも、２年生に読み聞かせをしたり、順番になったらむかえに行っていっしょにならんだりと、２年生のことを考えて行動することができました。

５年生

初めての係活動に緊張しながらも自分の役割を果たそうとがんばりました。

わたしは全力を出して応援合戦をしました。児童席にいるときもペア学年を応援できてよかったです。赤組が負けたので、今年の運動会は楽しくて、また、くやしい運動会でした。来年は、応援団の団長になりたいとので、そこでまた全力で応援して、勝てるように頑張りたいです。

僕は、演技の縄跳びを一度もひっかからないように頑張ってきました。途中で体力がなくなって失敗してしまうので、家では体力をつけるために全て通して練習しました。本番ではひっかかってしまったけれど、練習の時よりも、上手にできたので、本当にうれしかったです。

６年生

最高学年として、自分の事だけでなくペア学年の子や、同じ係の友達のことを考えて行動していました。運動会全体を盛り上げようと、一人ひとりが真剣に取り組みました。

ぼくは、最後の運動会で二つのことを学びました。まず一つ目が何事も全力で取り組む事です。一つ一つの種目だけでなく終わった後のかたづけや係の仕事などに全力で取り組んだ事により、悔いのない運動会にできました。

二つ目が最後まであきらめない事です。残念ながら赤組は負けてしまったけれど、最後の大玉まであきらめないでがんばることができました。